

授業概要

現代の家族を取り巻く社会状況と子育ての現状から、地域子育て支援の必要性と具体的な展開過程を概説する。また、保育者・支援者に求められる子育て支援の役割について実践的に教示する。

子育て支援施策の現状と課題、並びに地域子育て支援の理念とその機能・役割を理解し、子どもの最善の利益を考慮した子育て支援のあり方について考えられるようにする。また、子育て家庭の現状や保護者のニーズを知り、保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上を目指した支援の具体的な展開過程や、支援者の役割について考察する。

授業計画

第 1 回	授業科目の概要 オリエンテーション 「子育てと環境」
第 2 回	地域子育て支援の意義と役割
第 3 回	地域子育て支援の目的と機能
第 4 回	保育の専門性を活かした子育て支援とその意義
第 5 回	保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援
第 6 回	保育士に求められる基本的態度（受容的関わり・自己決定の尊重・秘密保持等）
第 7 回	地域の家庭の状況に応じた支援
第 8 回	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力
第 9 回	子育て家庭の福祉を図るための社会資源
第 10 回	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進
第 11 回	多様な支援の展開と関係機関との連携
第 12 回	保育所等を利用する子どもの家庭への支援
第 13 回	地域の子育て家庭への支援
第 14 回	要保護児童等及びその家庭に対する支援
第 15 回	子ども家庭支援に関する現状と課題
第 16 回	定期試験

到達目標

1. 子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。
2. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。
3. 子育て家庭に対する支援の体制について理解する。
4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。

履修上の注意

授業には積極的に臨み、授業で学んだことを発展的に理解しようとする気持ちを持ち、主体的姿勢で受容することを望む。

携帯電話の使用は認めない。

予習・復習

次回の授業内容を確認し、指定されたテキストの該当箇所を読み、自分なりの問題意識を持ち、考えを深めておく。また、授業内で記入したノートとテキストを照らし合わせて復習を行い、考えをまとめておくこと。

評価方法

毎回の授業後のリアクションペーパーの提出と小課題（20%）授業への参加度（20%）最終課題（60%）により総合的に評価する。総合評価 60 点以上を合格とする。

テキスト

- ・教科書名：新基本保育シリーズ 子ども家庭支援論
- ・著者名：公益財団法人児童育成協会監修、松原康雄、村田典子、南野奈津子編集
- ・出版社名：中央法規出版
- ・出版年 (ISBN)：978-8058-5785-4